



社会福祉法人つるかわ学園
 つるかわ学園を支える会
 ☎195-0051
 東京都町田市真光寺町
 186番地
 T E L (042) 735-2220
 F A X (042) 736-6374
 HP:tsurukawa-gakuen.com

「年頭に寄せて」

理事長 月岡 亮



令和六年一月一日。新たな一年が始まりました。いつも誰もが、その年が良い年でありますようにと願望し、そして挨拶をします。きつと良い方向に変わっていくのだと期待するのです。

幸せな一年・穏やかな一年でありますよう願います。

二〇一九年十二月初旬に中国の武漢市で第一例目の感染者が報告されてから、わずか数か月ほどの間にパンデミックと言われる世界的な流行となった新型コロナウイルスから五回目のお正月を迎えました。これまで私たちは、多くの時間と労力を新型コロナウイルス

対策に割られました。一つの区切りを迎えたことは事実です。節目を迎えこれまでを振り返り、様々な備えを期したいと思いますが、終息が見えない終わりになき戦いから、少しだけ解放されたお正月を迎えました。近年、暗い悲しいニュースがたくさんありますが、今年も、「辰」年。十二支のうちの五番目を指し、中国では十二支の十二獣と組み合わせ「竜」が充てられました。「竜」は中国の想像上の動物で現実の存在は「タツノオトシゴ」で、不思議なスタイルで立ち泳ぐヨウジウオ科の小さな硬骨魚というようです。これに対し想像上の「竜」は、体は大蛇に似て、背中は八十一枚の鱗があり頭に二本の角と耳、四本の足と五本ずつの指を備え、空を飛んで、雲を巻き起こし、雨を呼ぶと言われています。「竜」は、雨水を司る神と言われ仏法では守護神という縁起のいい動物なのです。想像の世界から抜け出し、現実社会に夢と希望を与えてほしいと、願います。



作 (川添元玄)

【はくぶつと人魚のおはなし】

つるかわ学園

画伯

昔、有名な画家の絵で、湖にいる人魚と宇宙が描かれていた絵を見て、自分もこんな絵を描きたいと思った。植物画は元々好きで紫陽花など描いていた。そういう思いから、人魚と植物を描き、海と人魚ではなく植物と人魚にしたら面白いと思った。色彩にもとてもこだわって描かれた絵です。

各事業所管理者より

新年のご挨拶

うさぎから辰年へバトンを渡され、うさぎの跳ねる姿から向上の年、そして、陽の気が動き万物が振動し大きく成長する年へと変わりました。皆さまは、誰にバトンを渡し、また、渡されますか……。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

つるかわ学園

施設長 芹澤 政人

り ゆう(菟)の如く昇り、成長の年にします。



町田通勤寮

管理者 月岡 亮

ゆ 勇往邁進(ゆうおうまいしん)通勤寮がチーム一丸となり…



地域生活援助センター フクシア

管理者 大矢 浩之

う 運送業の2024年問題。生活への影響はいかに



ドリーム事業所

管理者 外川 珠枝

の んびりと、ゆっくりと、楽しい時間を過ごしていきます。



町田市障がい者就労・生活支援センターりんく

管理者 藤本 英理子

ほ 忙中閑あり 効率よく、計画的な業務を目指します。



つるかわ学園 相談支援センター ころろ

管理者 近藤 洋

る ルーティンを見直し、生活改善に取り組む(自分)。



楽しく参加しました

夏祭り

七月二十七日に「夏祭り」が開催されました。利用者さんが楽しめる夏らしい催しとして、スイカ割り、ひもくじ、輪投げ、盆踊り、縁日（綿あめ・かき氷）に参加しました。感染症対応で控えていた法被を着て、お面を付けたリ、夏を感じられる夏祭りになったと思います。

担当 松江 若南



ボランティア講座

ボランティア講座を八月十日、八月二十一日の二回開催しました。一回目は、実習生等に行い、二回目は、野津田高校の生徒さんに受講していただきました。講座は「医療面」「摂食口腔ケア」、「ボランティアの役割と障害理解」等の内容としました。

講座後のアンケートには「ボランティアを始めたと思うきっかけとなった」等の意見をいただきました。意見を参考に、今後も地域へ還元できる講座を続けていきたいと思えます。

担当 鈴木 友和



東京都障害者スポーツ大会 「スポーツの集い」

九月十三日に、第五十七回東京都スポーツの集いが、東京体育館とオンラインで繋ぎ開催されました。グループホームの利用者とするかわ学園の利用者十数名が、感染症に配慮し、設置されている大きなスクリーンで配信を観ながら、盆パブリクスや玉入れ・アトラクションに参加しました。各フロアーでは、代替行事を行い、輪投げや玉入れ・ポッチャパン取り競争を行いました。

担当 清水 保



あきまつり2023

季節が移り変わるのも早いもので、酷暑も過ぎ去り、ようやく過ごしやすくなった十月十五日に「あきまつり2023」が開催されました。利用者さんが楽しめる催し物として、和光大学の先生よりパネルシアター、町田市内のキッチンカー「Connected Kitchen」(コネクトキッチン)「さんや」くるまカフェ Enke(エンケル)「さん」に和風牛肉カレーと豚汁、クレープの販売をして頂きました。利用者さんが、キッチンカーへ並び、受け取って食べている姿を見ると、以前のふれあいまつりを思い出させるような風景でした。また、そのような日常が戻りつつあるのを感じ、来年は、再びご家族や地域の方と結び合い、盛大に楽しんでもらえるようにしていきたいと考えています。

担当 田中 良典



担当 佐伯なおみ



ゆいまーる活動

横浜市民防災センターと横浜中華街へ総勢二十二名で行ってきました。

今回の防災館体験ツアーは防災意識を常に持つことを目的としました。

①災害シアター

②地震シミュレーター

阪神淡路大震災時の震度七、熊本地震の震度七の揺れを体験しました。レバーに捕まっていたとはいえ立ってられない程度の揺れを体験。

③火災シミュレーター

火災の場面を想定し消火器の使い方や学び実践。消火器を使用する前に火事を知らせるため「火事だー」と叫びました。久々の大きな声！真剣に叫び消火にあたる姿を見ると良い経験させてもらっていると感じました。久々に楽しい外出となりました！

担当 上妻 由香



ダイエーユニオン活動

九月六日、ダイエーユニオンの方々が来園され、残暑の中でしたが学園職員と一緒にボランティア活動をしていただきました。活動棟の階段等清掃を行い、見違えるほど綺麗になりました。清掃後は、かき氷を食べながら懇談し、利用者から感謝の気持ちを込めた寄せ書きをお渡ししました。次回はダイエーユニオンの方々と利用者の交流ができるよう願っております。

担当 鈴木 友和



御礼

株式会社正栄デリシイ様

ありがとうございます！

今回も沢山のチョコレートのお菓子を寄贈頂きました。おいしいものを食べるという心温まるひと時を過ごすことができました。温かいご支援、本当にありがとうございました。（施設利用者さんの描いた絵を掲載いたします）



つるかわ学園を 支える会のご案内

「支える会」について

国家的財政困難と世情不安定の中にあつて、施設も苦しい状況に置かれています。私達は私達なりに苦しさの中にあつても福祉を支える者として努力を惜しまず頑張っています。今一步の力の支えをこうした形で求めるのは本当に心苦しいのですが、市民の皆様のお小さな善意はやがて大きな力を生む礎となる事をお約束します。

どうか「つるかわ学園」を支える会にご入会し力を添えてくださいますようお願い申し上げます。

会費

「つるかわ学園を支える会」の会費は、一口年額三千円ですが、ひとり何口が入っていたくことを歓迎、お願いしております。

会員の方々には、毎年三回発行するつるかわ学園の機関誌「つるかわ」をお送りし、学園の様子を続けてご報告するとともに、この人達の幸せを願う者同志としての親交を深めます。

入会方法

入会してくださる方は、振込用紙を学園にご請求下さい。

振替口座番号

〇〇一〇一七一一九四〇二九

加入者

社会福祉法人 つるかわ学園

つるかわ学園 ホームページ

日常のようす、行事のお知らせ等がご覧になれます

アドレスはこちら!! HP: tsurukawa-gakuen.com

